

## ほのぼの

ネットワーク通信  
第12号発行者  
第4期同期会会長 香月 英彦  
平成27年3月1日発行

画 東江 順子

皆さん元気にお過ごしでしょうか。巷では暗い事件が続きますが、わが4期生は着実な足取りで進化しています。まず、北九州マラソンのスタッフ活動、卒塾後に立ち上げた「メンズクッキング」、第二の職場を終える感想、更にラジオの放送でなんと英語で「詩の朗読」をされるなど、すごく人生を楽しまれている様子が分かりますよ。

直近の予定としては、3月22日に第4回お元気です会を兼ねた定期総会を開きます。幅広い参加を求めるため面白い企画を考えています。たくさんのご出席を期待します。

(松井 敬)

## 「ほのぼのネットワークチーム」ありがとう！

会長 香月 英彦

会員の皆さんの生活習慣病やロコモ気味の便りも時折耳にしますが、折れない心と夢を忘れずに、「いつまでも盛旬」の気持ちで「人生100年時代！」をすてきに謳歌しましょう。

4期生のチームスピリット「元気に笑顔で」と同期生36名の強固なサポートで、2年間の同窓会運営を持続できたことを心から感謝しております。ありがとうございました。

今後同窓会が、時代を先取りした個人活動とチーム活動を育み、会員の皆様の生きる力となしてまいります。

- 1、いつまでも盛旬！「生涯現役！」
- 2、「すてきな仲間たちの志」を北九州の地域活性化へ
- 3、知恵を増幅する「チームワーク」

## Schedule

- ・3月22日(日) 9:50~15:20  
定期総会兼第4回お元気です会  
門司港レトロ散策、三宜楼で昼食懇親会
- ・3月29日(日) 13:30~15:30  
第3回主催セミナー「介護保険制度」 ウェルとばた
- ・4月12日(日) 9時~13時  
小倉都心まち歩きウォーク あさの汐風公園
- ・5月16日(土) 15時~19時  
夢追塾同窓会定期総会・懇親会 ウェルとばた

なごみ

書 江崎 弘子

## 生きているっていい

金谷 晴美

或る日子ども達に芥川龍之介「蜘蛛の糸」の絵本読み語りをしていたときフト気付いた。体力・能力が衰え行く昨今、共に活動出来ない私、孤独に落ち込みかける頃、一本のメール・電話の一言・一通の封書が届く。これが絆と言う名の蜘蛛の糸かも知れないと。

先日、ラジオで、「金子みすゞ」の詩を英語で朗読したとき、頬が染まる様なワクワク感のはるか昔の記憶、しかしまだ体の片隅に残って居た様だ。

「反省はしても、後悔はしない」と懲りもせず触手をのばして、八十路をエネルギーに、そしてよたよたと邁進したい思いが湧いてくる。実行出来るか出来ないか判らないが、私の存在が確かめられる。

10期生を迎える。さて、私は何期生までこの糸と繋がるのか楽しみである。仲間がいる。まだ希望を抱ける。やっぱり生きているっていい。



FM KITAO 生放送中

詳しくはこちら

(12月26日 FM キタキューに出演)

## 「田原坂」に思う

神野 義朝

田原坂の古戦場の見学に行った。今から約130年前、明治の初めにここで日本最大で最後の戦争があったのである。九州討伐の政府軍と西郷隆盛が率いる薩摩軍との天下分け目の大戦争である。西南戦争の中でも特大の殺戮戦で、全長300メートルあまりの細い3つの坂道を挟んで両軍が死闘を展開した。最終戦の24日で延べ3,660人の戦死者をだしたと記録されている。正に凄まじい戦いである。詳細は分からないが、今では熊本民謡で当時に僅かに忍ぶことが出来る。

この田原坂の歌であるが、歌詞の内容と実際の戦況とのギャップが大きく、長い間疑問を持ったまま今日に至っている。

疑問(1)は、この民謡はどちら側の様子を謡ったものであろうか。一日に何百人もの屍が出る死闘の中、「馬上ゆたかな美少年」は無いであろう。

疑問(2)、会いの手の「チャカホイ、チャカホイ」とはどういう意味があるのか。歌全体の緊張をほぐすためなのか、謡だけを聞いていると浮かれ気分で戦ったという印象である。

多くの犠牲者の鎮魂のためにも、また新日本建設への一里塚として威厳のあるものにかえられないものかと思っている。

——次回は**榎谷忠明**さんをお願いします。

## 塩と砂糖のコラボで

久保 弘明

11月9日(日)、男女共同参画センター「ムーブ」に於いて第4回食育セミナーを開催致しました。演題は「健康と調味料」でしたが、特に塩と砂糖については初めて聴く事が多く、参考になる事が沢山ありました。講師が九州で最初に「調味料マイスター」を取得された方と言う事もあり、一般の参加者も多く、わざわざ宮崎から参加された方もいました。

講演が終わっても、多くの方が質問されていて非常に有意義なセミナーでした。



## 1月25日を最後に休会します

会員の皆様のお陰で4年間も楽しい催事が出来たことに対して感謝の気持ちで一杯です。

愉快にメンズクッキング 久保 弘明

## 【外野席より】

4年間で培った料理の腕前を、家庭や仲間の集まりで是非ご披露ください。期待しています。

## 頑張った わ・た・し

穴生市民センター館長 岡 ひろみ

私は若松区民です。穴生まで長い通勤があります。この時間・空間体験が3月で終わるのです。

朝、若戸大橋の若松側登り口にはカラス、橋脚の一番高いところにカモメ、戸畑側にとびなど大きい鳥がとまっています。

戸畑駅では人ごみの中で知人とすれ違う時もあります。一瞬の眼差しだけの時もあれば「生きとったんやね。」など短い会話ができる事も。黒崎駅からは筑豊電車。イケメン車掌さんの黒いカバンから両替をしてもらったり、回数券を買ったりが座席でできます。今年、低床の新型電車を導入、高架の穴生駅にエレベーターが新設されました。

私は、住みやすい楽しいまちになるようにみんなで活動する穴生の方々に尊敬しています。市民センターでは色々な方々にご協力を頂き3年の期間を終えることができました。皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## きつかった・楽しかった・寒かった

新見 正康

2月8日(日)第2回となる北九州マラソンのボランティアに参加してきました。

4期生の9名は、今年は浅野赤坂ブロックでのコース整理で、具体的には小倉記念病院近くの交差点付近での交通整理でした。昨年と違い、ランナーが走るのを間近に見られて大声で応援もでき、小雪と寒風にさらされながらも楽しい仕事でした。

同窓会だより第19号に詳報。ホームページをご覧ください。

